

工学部・理工学部

未来創造力
女子力 Up!

女子交流会からの メッセージ

工学部・工学研究科 版



2024 年度 女子交流会ファシリテータ(進行役)の皆さん

女子交流会は、学部・学年・学科を超えてコミュニティを構築する場が欲しいという女子学生の声から始まりました。

入学前の皆さんの疑問や不安を少しでも解消できるようにと、ファシリテータから女子高生のみなさんへのメッセージです。



<左から>

電気電子工学専攻 山内紫布佳さん(進路:電力会社)

応用化学専攻 井垣侑生さん(進路:鉄鋼会社)

応用化学科 片桐実優さん(希望進路:地方公務員)

電気電子システム工学科 堀場春花さん(進路:中部大学
大学院)

女子交流会ファシリテータの生の声を聞いてみよう！

工学部は女子学生が少なくて肩身が狭いか
と思っていましたが、全くその様なことは無
く、自由に過ごさせています。(情報工学科 学生)

工学部は基本的に女子学生数が少ないので
不安に思うことは多いと思います。しかし中
部大学には様々な学部の学生がいて、全体で
見たら**女子学生はたくさんいます！** 私も学
科だけではなく、サークル活動を通して多く
の女子学生と友達になることが出来まし
た！ 工学部だからと不安にならずに色々挑
戦してみてください😊 (都市建設工学科 学生)

建築学科は縦の繋がりが多いので、先輩に沢山助けて貰えます。今目指していることは、**一級建築士を取得**して、**設計士**になることです。(建築学科 学生)

女の子が少なくて不安に思う人も少なくはないと思いますが、**性別関係なく仲良くなれる**と思うので安心して下さい！なので、興味のある道に進むべきだと思います！（都市建設工学科 学生）



<左から>

情報工学科 大西郁美さん(希望進路:大学院)

都市建設工学科 松本瑠奈さん(希望進路:建設コンサルタント)

電気電子システム工学科 伊藤亜寿香さん(希望進路:大学院)

都市建設工学科 松井千紘さん(進路:愛知県庁)



<左から>

創造エネルギー理工学専攻 金井李笑さん(希望進路:研究職・技術職)

機械工学科 藤原祈従さん(希望進路:大学院)

情報工学科 小山田芽衣さん(進路:IT系企業)

応用化学科 日比琴美さん(進路:中部大学大学院)

入学式当日、女子の少なさに驚きましたが、少ないからこそ交友関係をすぐに結ぶことが出来たのは良かったと思います。好きなものを共に学んで行く仲間という点では、あまり男女の違いは無く、**女子が少ない**というのを気にする必要は無いと思っています。(機械工学科 学生)

県外から来ていることもあり、周りの環境や人に馴染んで上手くやっていけるか心配でしたが、深く考えず過ごしていたら意外と困ることがなかったです。(建築学科 学生)

入学前に特に不安だったことはありませんでした。学部時代3年生の2月からコロナウイルスのパンデミックが始まったこともあり、卒業研究に満足に取り組めなかったことが悔しかったので、大学院ではもっと頑張りたいと思っていました。大学院入学後も一時期、感染者が学内でも増えたことで大学が閉鎖になったり、初めて参加した学会がオンラインだったりと色々なことがありましたが、周りの先生や先輩に支えてもらって修士号を取ることができました。(創造エネルギー理工学専攻 大学院生)

工学と聞くと男性が多く、不安に感じることもあると思いますが、実際に入学すると**男女関係なく専門的な知識を学ぶことができます。**自分の興味のあることを見つけ、それを探求できる環境を選ぶことが大切だと思います。(応用化学専攻 大学院生)

まだまだ工学部の女子学生は少ないですが日々女子だけの交流会を開いたりして楽しく過ごしています。私たちで中部大学工学部の女子たちを盛り上げていきましょう！（応用化学科 学生）

自分の「好き」や「興味」を大切にしてほしい。工学の分野での経験を通じて、きっと**新しい自分や可能性**を見つけられると思います。(建設工学専攻 大学院生)

もし、自分のやりたいことが工学系なのだとしたら、**工学の世界に飛び込んでみたら良いと思います。**困ることがないと言ったら嘘になるかもしれませんが、やりたいことを諦めなければならないほどのハードルはないと私は感じます。(電気電子工学専攻 大学院生)

私は自分の興味のある分野で学部学科を選びました。女子比率なんて関係ないですよ！**就職活動では企業から女子枠で推薦**が来ますし、女子学生が少ないからこそそのメリットもあります！(情報工学科 学生)



<左から>

建築学科 登内静紅さん(希望進路:就職)

建築学科 田村潤葉さん(希望進路:組織設計)

建設工学専攻 木田沙弥香さん(希望進路:意匠設計、設計事務所)

建設工学専攻 山路莉穂さん(希望進路:組織設計)



工学部進学を決める際に「入学したら他に女子がいなくて、気軽に話せる人ができないかも。講義についていけるかな」と不安に思っていました。しかし、実際に大学生活が始まると先生方も優しくサポートしてくださったり、気軽に話せる仲間ができたりと**楽しく大学生活を送ることができました。**先生方も女子先輩と繋げてくださるなど、入学後の不安はなかったです！(電気電子システム工学科 学生)

私は高校のとき、SSC (スーパーサイエンスクラブ)という部活に入ったことをきっかけに、化学に興味を持ちました。そして、大学でも化学分野について学びたいと考えるようになり、現在は応用化学科に所属しています。

高校当時を思い返すと、化学にこだわらなくてもいいのではないか、もっといい選択があったのではないかと、**本当にこれで良かったのかと悩む日々**が多くありました。しかし現在は、自分の選択は間違っていないと自信を持っています。それは、友人や研究室、バイト先の仲間、先生といった今の周りの環境のおかげです。周りの方々に支えられたことで自信を持つことができましたし、これらの出会いにとっても感謝しています。

もし、やりたいことがない方がいるなら、ぜひ**色々な活動に参加してみる**ことをオススメします。SSCの活動や大学生活を通して、講演会やオープンスクールなど、興味深いお話を聞いたり、実際に化学実験に触れられる機会が多くあることを知りました。そういった体験から、**自分がやりたいことのヒント**が見つかるかもしれません。

もし、やりたいけどできないと諦めている方がいるなら、ぜひ挑戦してみてください。私自身、何かに挑戦する際には、失敗したときのことを考え、とても苦しく、辛く感じます。しかし、やらなかった後悔の方がよっぽど苦しいと思いますし、私はそう自分に言い聞かせています。

不安に思うこと、失敗することは決して悪いことばかりではないです！そのとき自分と向き合うことで、その先にきっといい出会いがあると思います！一緒に頑張りましょう！(応用化学科 学生)

女子学生の人数が少ないからこそなのか、**女子同士の仲は良くなるのが早かった**気がします。入学前は理系という場所は難しそうな雰囲気なのかもしれない、と思っていましたが、入ってみると全くそんなことはなく、自分のやりたいことが見付き、それを専門的に学べる施設が揃っている場所でした。(建設工学専攻 大学院生)



女子交流会の様子

工学部は女性が少なく 4 年間寂しいのではないかとされる方もいるかもしれませんが、少ないからこそ仲良くなれる友達ができることもあります。**大変な事もありますが実験・研究は楽しく就職にも役立つメリットもありますので、工学に興味のある女子高校生の方はぜひ来てくれたら嬉しいです。**(電気電子システム工学科 学生)

大学院へ進学した理由 & 研究内容



金井李笑さん
(創造エネルギー
理工学専攻)

進学した理由

人文学部 3 年生在籍時にタイ王国にあるアジア工科大学院で GIS (地理情報システム) のサマースクールに参加したことがきっかけです。私が参加した 2019 年は日本を含め 9 か国から参加者が集い、GIS を活用した研究事例についての講義及び、GIS 関連企業や政府機関への訪問等のフィードバックを行いました。GIS が環境保全や都市開発、防災、公衆衛生などさまざまな分野で活用されていることを知り、その汎用性の高さに強い関心を持ちました。GIS をより深く学び、学部で学んだ社会学(人文学)と融合した研究をしたいと考え、工学研究科への進学を決めました。

研究テーマ

私の研究テーマは「社会生態システムの総合的理解へ向けた生物種分布と社会経済的要因の空間的関係性についての検討」です。人間社会と生態系の相互関係を明らかにし、持続可能な社会の実現に向けた方策を提案することを試んでいます。現在は動物種を用いた詳細な分析を行っています。

近年急増しているツキノワグマ・ヒグマの大量出没はドングリなどの堅果類の豊凶と関連しており、その豊凶は気候変動の影響を受けていると考えられています。気候変動は人間社会の活動が重要な要因となっています。したがって、人間社会と生態系は密接に結びついており、この関係を一体化して現在起きている問題を捉えるべきだと考えています。

進学した理由

元々女子高出身で、物理の授業を選択することができませんでした。そのため、大学進学時、周りの子よりも電気・電子に関する知識が劣っていました。学部の授業だけで身に着けた知識や経験だけでは、社会に出た時周りについていけない自信がなかったため、少しでも知識や経験を増やしでから社会に出たいと思ったことが理由の一つです。

研究テーマ

私の所属する研究室では、主に風車や航空機、自動車など様々なものを雷から守るための研究をしています。その中でも私の研究テーマは、「有人ドローンの落雷回避に関する研究」です。この研究は、テーマの通り有人ドローンを落雷から守るための研究をしています。ここでは、プログラミングを用いて気象分析をし、有人ドローンが航行中に雷を回避できるようにする条件を検討しています。また、実際に有人ドローンの模型に雷を落とす実験をすることで機体に落雷しないかの確認などを行っています。このように、ソフトウェア、ハードウェア問わず様々な視点から研究を進めています。 2024 年度「伊藤早苗賞」受賞*



山内紫布佳さん
(電気電子工学専攻)



井垣侑生さん
(応用化学専攻)

進学した理由

化学をより専門的に習得し、研究の理解を深めたいと思い大学院に進学しました。

研究テーマ

研究室では石油資源に替わり植物由来バイオマスで化学材料を合成することを目指しています。これまで使われている石油は資源の枯渇や二酸化炭素の排出などの環境問題がありますが、植物由来バイオマスは再生可能資源でカーボンニュートラルの達成に貢献できます。よって、植物由来バイオマスの利用は環境に与える負荷を減らすことが期待できます。私は反応を促進させる触媒やイオン交換樹脂を合成し、その性質や能力の向上を目指し、研究しています。2024 年度「伊藤早苗賞」受賞*



山路莉穂さん
(建設工学専攻)

進学した理由

進学した方が自分の視野が大きく広がると思ったから。さらに就職したいところから大学院修了が条件のところが多かったから。

研究テーマ 「XR と建築の関係」

建築と XR (クロスリアリティ) の関係について研究をしています。具体的には、XR が「建築空間」と言えるのかどうか、そして仮想世界と現実世界が融合することによって、これからの建築がどのように進化し変容していくのかというテーマに取り組んでいます。XR 技術の発展により、現実の物理空間に仮想の要素が取り入れられるようになり、従来の建築が持つ「空間」の概念がどのように拡張され、新しい可能性が生まれるのかに関心を寄せています。



木田沙弥香さん
(建設工学専攻)

進学した理由

学部 3 年生のころ進路を考えた時期に、まだ勉強したいと思いました。また、将来なりたい自分の職種が、大学院修了採用をしている場合が多いことを知ったからです。

研究テーマ 「インタラクティブアーキテクチャ(相互的な建築)」

人や観客と相互的な関係をもつ建築とは何か、相互的な関係を持たせるためには建築に何が必要かを考える。

世の中には、「インタラクティブアート」や「インタラクティブデザイン」といった人が触れたり見たりして直接体験できるデザインというものが存在します。人の感覚を刺激するデザインは人との間に相互的な関係を作り出せるものなので、それを建築に取り入れ、人が住むこと、生活することを実感できる空間とは何かを研究しています。



女子交流会
の様子

*「伊藤早苗賞」は、中部大学で優れた研究業績を挙げた女性若手研究者および女子大学院生を表彰する制度です。

教員からのメッセージ



箱山千春 助教
(機械工学科)

機械工学の知識は多くの産業で必要とされており、卒業生の中には医療・化学・食品分野で働く人もいます。物理や数学が好きな方、ぜひ機械工学科で勉強しませんか？ 幅広い分野で、男女問わず活躍できる力が身につきます！

「リケジョ」と、ひとまとめにされることが多い私たち。でも当然、千差万別、求めるものも悩みもみんな違います。圧倒的に多い男子学生と共に学ぶことに不安を感じる女子学生もいれば、女子学生同士の関係に悩む学生もいます。学年が進むにつれて研究や進路について女性としての悩みも出てくるでしょう。そんなときには私たち教員に気軽に話しに来て下さい。学科が違って、学部が違ったって構いません。ワンキャンパスの総合大学である中部大学には理系・文系を問わず、たくさんの女性教員がいます。私たちの経験やネットワークが、皆さんの学生生活を健やかにするのであれば嬉しい。いろんな「リケジョ」が充実した学生生活が送れるようにサポートします。



石川英里 教授
(応用化学科)



中部大学 工学部

機械工学科／都市建設工学科／建築学科／応用化学科／情報工学科／
電気電子システム工学科

理工学部

数理・物理サイエンス学科／AI ロボティクス学科／宇宙航空学科

中部大学大学院

工学研究科

機械工学専攻／電気電子工学専攻／建設工学専攻／
応用化学専攻／情報工学専攻／創造エネルギー理工学専攻／
ロボット理工学専攻／宇宙航空理工学専攻

